

2006 年度

科目名 宗教学講読 A	対象学科・学年 文学部文財 2 回生 人間人社 2 回生	担当者 貫名 譲
授業テーマ 『ジャータカ物語』の世界にふれる		
授業の概要と目標 『ジャータカ物語』とは、釈尊が前世において菩薩であったときの善行を集めた物語です。インドで作られたものですが、もともとインドにあった昔話に仏教的色彩が加わって出来たとされています。後に仏教の広がりとともに世界各地に伝わり、『イソップ物語』や『アラビアンナイト』にも影響を及ぼしたとも言われています。また、日本の『今昔物語集』にも影響が見られます。500余りの話がありますが、その中からいくつかを取り上げ、仏教思想の一端をうかがってみたいと思います。		
評価方法 レポート試験（60％）、出席状況・授業態度（40％）、総合評価で行います。		
テキスト 最初の授業時に指示をします	著者	出版社
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 - はじめに - ジャータカ物語の概要 - いのちを捨てて、相手を助ける - 悪いことと善いこと - 恩に報いる - 分からない者ほど慌ててしまう - 愚かさを知ることの大切さ - 命を生きるとは難しいもの - 賢者と愚者 - 本当の幸せとは何？ 『ジャータカ』が及ぼした影響① 『ジャータカ』が及ぼした影響② - 日本の中に見える『ジャータカ』 - まとめ - レポート試験		